

# 文芸

## 短歌

### 米納三雄 選

二階まで娘が焼くパンの匂い来て日曜の朝を充足におり

金銀の花の雫を零しつつ木犀香る散歩の小径

荒草に蔓からませて昼顔のうす紅のぞきこの秋もゆく

白じろと朝霧深く立ちこめて野辺の傾りの茶の花濡らす

心地よき小春日和に急かされて一日忙しく冬支度する

老人となりし証か朝刊のおくやみ欄に日毎目の行く

病む夫を言葉の刃で突きし後愚かなる吾が心は疼く

椀の甘き香りの流れ来て夫を送りしかの日偲ばる

すすきの穂かりそめと言うおもむきに山を真白くつつむ秋

思い込め「また逢う日まで」を歌う人歌詞を通して心伝わる

散歩路に野花摘みつつ月見つつ霜月なれど心は春色

デイケアに行く道すじに咲いている黄色い花はヘチマだろ

うか

惣領 萩峯ヤス子  
小池 坂上 裕子  
小森英美子

## 俳句

### 富永小谷 選

広辞苑重きをかこつ文化の日

初しぐれ神馬のまなこ濡しけり

椀のこぼれ夕闇ふかくせり

鎌を研ぐ十一月の水清し

息災の合図のやうに柿すだれ

ふる里へつづく道なり木守柿

架け稲の白く重たき夕べかな

声ひそめ旧友のごと鶴来る

入院の母の物選る菊日和

散紅葉まろき日背に掃くは誰ぞ

## 狂句

### 田上富岳 選

安あがり 閉店前の値引き物

安あがり テープでお経済まされた

安あがり 孫の散髪ジジ床屋

安あがり 一歩も家ば出んが勝ち

安あがり いきなり団子でおもてなし

冬支度 盆栽家に上りこみ

冬支度 先ずはふところ温めにゃん

冬支度 割木並んだ納屋の壁

冬支度 木の葉落して春を待つ

冬支度 傘差してやる庭の菊

馬水 那須たゞし  
赤井 西たかもり  
惣領 山本みな子  
上陳 永田己智子  
小谷 上田 春日  
宮園 永田 自然  
宮園 久保ます子  
秋永 福岡ふさえ  
田原 佐藤 澄世  
宮園 丸野 紀子

廣崎 一丸 寅三  
廣崎 宮崎 逸雄  
惣領 阪口 基明  
宮園 岩本よこく  
惣領 小森英美子  
宮園 西田 流水  
下陳 山田 凡骨  
木山 増岡 酔粋  
寺迫 新村 典子  
田原 野口 鈍輝

狂句次号の課題 「たのもしさ」「時代は変り」

投稿は役場広報係まで。毎月15日まで必着。  
(数種に投稿される場合は、別にしてください。)

### タコ足配線を していませんか？

普通は……

タコ足だと

数分後には

もっと電気をくれ

### タコ足配線

コードや配線器具は使える電気の量にかぎりがあります。テーブルタップを使つてのタコ足配線をしていると、1度にたくさんの電気が流れ、過熱して危険です。電気器具は、コンセントから直接使うようにしましょう。

財団法人 九州電気保安協会